

シカ柵斜め張り（埼玉方式） マルチコプターも視察

近畿中国局管内で

六月二二日（金）、近畿中国森林管理局
森林技術・支援センター（岡山県新見市）
において、シカ柵等の現地視察、意見交換
を行いました。四国森林管理局から、森林
整備課、森林技術・支援センター、安芸森
林管理署、技術普及課から参加しました。
当日は、シカ防護柵（斜め張りネット・
埼玉方式）の作設方法等について説明後、
斜め張り現地を視察しました。（写真上）
現地では、近畿中国森林管理局職員等と局
署等職員とで、斜め張りの杭やネットの作
設等について、多くの意見が出されました。
その後、マルチコプター（写真下）の飛
行実演も視察、操作や性能等についても意
見交換を行いました。
得られた情報は今後の会議等で報告し、
共有していく考えです。



誌上 森林環境教育

様々なバイオマス資源

「作ってみようー炭ー」

目標

炭を作ることで、バイオマス資源に関心を持つ。

準備

割り箸、マツボックリ、枝、折り紙（写真）など炭の材料。
お菓子の空き缶（ふたがあるもの）、針金。

手順

- (1) 割り箸や折り紙、枝、葉っぱなど炭にする植物や木を集める。
- (2) 数カ所、空気抜き穴を開けておいた空き缶に炭の材料を入れ、針金でふたを固定。
- (3) 缶をガスコンロなどにかけて熱する。
白い煙が透明になったらコンロなどからおろす。割り箸なら10分程度でできる。
火気には十分に気をつけること。

（大日本山林会 日本の森林と林業より）

このプログラムを小学校等で実践するには、局（四万十川森林ふれあい推進センター）が作成している「森林環境教育プログラム」（H21.3改訂）第2部竹炭作り「木の実や葉っぱを炭にしてみよう」を参考にしてください。

知って 豆知識

「ESD」って

持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development、通称ESD）とは、

持続可能な開発を実現するために発想し、行動できる人材を育成する教育。教育の場や生徒の年齢を限定せず、場所・時間に縛られずに誰もが参加することのできる生涯教育。

昨年11月、林野庁主催による「森林環境教育の充実とESDの推進」が名古屋市で開催。

目的は「我が国の森林環境教育の取組について、ESDの視点で再確認するとともに、取組状況を発信することにより、森林環境教育とESDの連携の強化を通じて、森林環境教育のさらなる充実及び森林・林業が内包する持続可能性の理念のESDへの浸透を図る。

（林野庁森林利用課 開催報告書より）



編集後記

今年も7月に。これで〇度目の夏を体感。梅雨明けは中旬以降とか。熱中症対策として、こまめに水分補給を。次の季節を迎えるためにも。